※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	2	年次	1
使用教科書	「新編 言語文化」　（数研出版）						
副教材等	「改訂版 要点プラス体系古典文法」　（数研出版） 「ビギナーズ古典（古文・漢文）」（尚文出版） 「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「言語文化」の時間では、古典（古文・漢文）と現代の小説作品を題材に様々な時代の文章に触れることで、読解力をつけ、ものの感じ方や見方、考え方を豊かにしていきましょう。
・授業では課題に対して、自ら考え、周りの人と考える活動を行います。
・様々な題材を読む能力の向上とともに意思を伝える書く能力も高めて行きます。
・ノートや問題集、プリントなどの課題を提出してもらいます。自分でしっかり取り組みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して日本語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成する。
①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者とかかわったり、思いや考えを深めたりしたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文の世界を楽しむ ［教材］ 宇治拾遺物語 児のそら寝 検非違使忠明	a： ・日本の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深める。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 b［ 読 ］:内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで歴史的仮名遣いについて理解し，学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	地域の「ことば」 ［教材］ とんかつ	a： ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。 b［ 読 ］:文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って周囲の生徒と意見交換しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	現代にも生きる教え ［教材］ 徒然草 ある人、弓射ることを習ふに	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し，学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	「ことば」を吟味する ［教材］ 舟を編む	a：日本の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二学期	受け継がれる古典 ［教材］ 羅生門	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［ 読 ］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	受け継がれる古典 ［教材］ 探究の扉ー比べ読みー 今昔物語集	a：。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b［ 読 ］：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	和歌が作り出す世界 ［教材］ 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	a：本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b［ 書 ］：、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 c：好きな和歌について積極的に調べ、学習課題に沿って紹介文を書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	和歌が作り出す世界 ［教材］ 探究の扉―比べ読みー 和歌を訳す	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 書 ］：作品や文章の成立した背景や、内容の解釈を深め、教科書掲載の和歌について、例を参考にオリジナルの訳を作る。 c：和歌の訳例を進んで鑑賞しておもしろみを見出し、学習課題に沿ってオリジナル訳の作成に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元の学習内容</th><th rowspan="2">単元の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="4">三学期</td><td>日本語の中に生きる漢文
［教材］
訓読きまり
格言
訓読の基本</td><td rowspan="2">a：日本の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。
・基本構造「主語・述語」と句読点・送り仮名・書き下し文について理解する。
・句読点・送り仮名・書き下し文に慣れる。
・書き下した上で現代語訳に挑戦する。
b[　読　]文章の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めている。
c：進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し，見通しを持って漢文を学ぶ意味について考えを持とうとしている。</td><td rowspan="2">ワークシート
定期考査
小テスト
ノート</td><td rowspan="2">ワークシート
定期考査
パフォーマンス課題</td><td rowspan="2">ワークシート
振り返りシート</td></tr>
<tr><td>故事と成語
［教材］
助長
［教材］</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
</table>

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間